



年度末『ラストスパート月間』お疲れ様でした！
24年度は、2課題を『純増』で終えました(4年ぶり)
教訓を生かし、新たな目標に向かって勢いを作ろう

年度末でお知らせ出来なかったニュースを一挙公開！

山陽支部 寒い季節に仲間と「おでん会」



山陽小野田ブロックは年度末で盛沢山の活動展開。みんなの笑顔が印象的！

寒さの厳しい2月、山陽支部では組合員を集めて手作りの「おでん会」を開催。大勢で囲み、身体も心もあたたまりました。病院「MRIキャンペーン」チラシでよびかけたところ、MRI予約も入り、増資協力もありました。普段のつながりを活かして、あらゆる機会に声かけする大切さを実感しました。

山陽支部と社保委員会合同 「ホワイトデー行動」で見えてきた事

3月7日、山陽支部と法人社保委員会合同で、マルキュウ厚狭店で「ホワイトデー行動」を実施。健康チェックの実施と、医療生協の活動紹介や社保宣伝活動で買い物客にアピールしました。90分間で27人が参加。参加者の大半は70代でしたが、なかには90代独居男性も数人おられました。

今後の開催に向けては専門家による生活相談やアドバイス対応、支部活動への参加のよびかけ、定例開催の必要性などを実感し、対応課題も見えてきました。



小野田南支部 3/11手配り交流会 “地域とつながる関係を築きたい”

健文会と山陽小野田市は「地域における見守り協定」を結んでいます。吉富支部長代行は「手配り交流会」に参加した手配りさんに見守り協定の内容を紹介。「手配りの最中に地域のなかのちょっとした異変に気づくことで孤独死などを防ぎ、安心して暮らし続けられるまちづくりにつながる。」と話しました。

交流では、身近な地域で実際にあった孤独死の事例、関りなどが話題になりました。「行政サービスの普及、自治会での見守り活動もあるが、医療生協もそこに入って少しでもおせっかい出来る関係をつくりたい」など話が盛り上がりました。みなさん医療生協の存在意義に改めて触れることができたようです。



有帆支部 お花見交流会で仲間が増えた

桜が咲く予定で3月26日に設定した「お花見交流会」まだ、つぼみが固く咲きそうになかったので造花の桜を囲んでの食事会となりました。

新たに手配りになった組合員さんや、米寿や傘寿を迎えた組合員さんを紹介。みなさんから拍手で迎えられ、笑顔であいさつされました。

食事の後、色とりどりの風船を膨らませ、みんなで風船遊び。みなさん童心に帰って笑顔で風船を飛ばしていました。後日、参加者からの紹介で1件加入あり、企画した運営委員で喜び合いました。



小野田中央支部 夜桜タペストリーでお花見食事会

3月27日、小野田中央支部のおむすびの会。予定していた「さくらウォーキング」は天候不順で実施できず、代わりに夜桜タペストリーをみんなで作りました。

きれいに収まった満開の桜の木と、風にそよぐ桜の木。それぞれのグループで味のある夜桜タペストリーが完成しました。作ったタペストリーを壁に貼って「お花見食事会」を開催。増資協力も多数の参加者から寄せられ、「出資金ふやし」の年間目標を達成。この勢いに乗って気持ちよく新年度を迎えられそうです。



高千帆支部 笑顔咲く江汐ウォーク

3月28日、楽しみにしていた江汐ウォークは「曇り時々雨」のお天気。それでも25名が参加し、山本次長によるウォーキング指導を受けた後、近場を歩きました。まだ咲きかけの桜ですが、足の悪い方や車いすの方もそれぞれに散歩を楽しみ、笑顔あふれるウォーキングになりました。支部はあみだくじや笑いヨガ、人気のお弁当なども準備し、最後までしっかり参加者に楽しんでもいただきました。

防府支部 3.13重税反対集会 健康チェック



防府支部は防府民商からの要請に応え、昨年に引き続き今年も健康チェックブースで参加。支部運営員2名、支援部1名の計3名で参加。健康チェック（血管年齢や体組成など）を受けられた方は10名、その中のお一人が加入してくださいました。3名のスタッフ体制では慌ただしく、ゆっくり説明が出来なかったのは残念。来年は体制を厚くして医療生協をしっかり宣伝したいと思いました。

琴芝支部は毎月第一水曜日に集まり、ときわ公園をゆっくり歩いています。

3月は満開の梅の中を歩きました。途中、休憩やおしゃべりタイムで一息しながらウォーキング。4月は満開の桜の花を楽しみながらみんなと歩きたいと思います。

琴芝支部 ときわウォーク 会話を楽しみ、のんびりと





湊さん、なんと！ハーモニカ2本使い、演奏

岬支部 毎月1回のころばん体操班 班会の後はハーモニカ演奏で交流♪

2月25日、岬支部はころばん体操班ですこしお塩分チェック。塩分量は宇部市の基準値内の方がほとんどで優秀でした。つづけて健診結果の見方を資料と共に学び、MRIをつかった乳がん検診をよびかけました。

会の最後はハーモニカ演奏。スキー、トロイカ、春よ来い、リンゴの歌の4曲を合唱。いつもころばん体操の後はお楽しみ会をセット、班員同士の交流を大切にしています。

「上関原発を建てさせない山口大集会 2025」 健文会から総勢60名でアピール



大型バスで参加した地域組合員のみなさん

ジャーナリストの青木美希さん⇒



3月22日、「上関原発を建てさせない山口大集会」が維新百年記念公園で開催され、県内外から約800名が参加しました。山口民医連&健文会からは約60名が参加し、揃いのオレンジのベストを着てアピールしました。ジャーナリストの青木美希さんは、政府による原発推進政策の中で、現地の実態（放射線量・土の汚染・健康被害）が伝えられていないことを危惧し、メディアが報じない真実を草の根から広げていく必要性を訴えました。

現在、上関に中間貯蔵施設の建設計画が持ち上がっていますが、周辺自治体からの反対の声が強まっています。2月の田布施町の選挙では建設反対の6名が上位当選し、町議会で建設反対決議案が可決されました。

いま、わたしたちにできることは、「新規原発建設の反対、中間貯蔵施設要らない」の民意を目に見えるかたちで示していくことではないでしょうか。今後もひきつづき、アンケート対話やシール投票などで運動していきましょう。

～おしらせ～ 「医療生協健文会 健康まつり2025」実行委員会

◆事務局会議 5月22日(木)13時30分～15時 病院多目的室

◆第2回実行委員会 5月29日(木)13時30分～15時 病院多目的室

「お米カンパ1号運動」 「何でも相談会&食材支援」活動をみんなで支えよう

(第2弾:5/20時点) ⇒ 地域組合員・理事(10名)、職員(8名)+3階病棟で合計約26キロ分を確保。みなさまのご協力、ありがとうございます。

しかし、宇部(5/28)と山陽小野田(6/14)の2地域の開催に向けては、まだ、およそ40キロ分不足している状況です。引き続きカンパをよびかけ、集めていきます。